

令和6年滝沢市議会定例会12月会議

○会議日程表 p 1

○議事日程 p 2～p 6

(12月5日、12月9日、12月10日、12月11日)

○一般質問項目 p 7～p 23

令和6年12月5日

令和6年滝沢市議会定例会12月会議 会議日程

滝沢市議会事務局

日次	月 日	会議区分	開議時刻	日 程	
1	12月5日(木)	本会議	10:00	<ul style="list-style-type: none"> ・再開 ・諸般の報告 ・行政報告 ・会議録署名議員の指名 ・議案第1号～第6号 提案理由説明 ・同意第1号 提案理由説明 ・報告第1号～第4号 報告 	
2	12月6日(金)	各常任委員会	10:00	<ul style="list-style-type: none"> ・付託審査、所管事務調査等 	
3	12月7日(土)	休 会	—		
4	12月8日(日)	休 会	—		
5	12月9日(月)	本会議 一般質問(5名) 60分/人	10:00	1 山谷 仁	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食費無償化の実現について ○ふるさと納税に関する出品の募集方法について ○死亡届・手続きに関して ○菓子駅前交通広場自動車駐車場の利用について
				2 奥津 一俊	<ul style="list-style-type: none"> ○本市が目指すべき地域医療の方向性について ○災害に強いまちづくりの醸成について
				3 川口 清之	<ul style="list-style-type: none"> ○本市の農業振興の取り組みについて
				4 柳橋 好子	<ul style="list-style-type: none"> ○生活基盤道路の整備・維持について ○個性や多様性を尊重することについて
				5 藤原 治	<ul style="list-style-type: none"> ○選挙における投票時間について ○中学校の部活動について ○喫煙所について ○ビッグルーフ滝沢の施設等について
6	12月10日(火)	本会議 一般質問(5名) 60分/人	10:00	1 齋藤 明	<ul style="list-style-type: none"> ○市政について ○財政の基盤強化について ○職場環境の改善について ○農業振興について
				2 仲田 孝行	<ul style="list-style-type: none"> ○滝沢市行政基本条例について ○盛岡赤十字病院誘致の進捗状況について ○会計年度任用職員の採用について
				3 小田島 清美	<ul style="list-style-type: none"> ○森林管理について ○防犯カメラの設置について ○防災について
				4 村木 香織	<ul style="list-style-type: none"> ○中心拠点商業地区開発について ○ビッグルーフ滝沢について ○エンディングノートについて
				5 安部 理絵	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援について
7	12月11日(水)	本会議 一般質問(4名) 60分/人	10:00	1 井上 仁	<ul style="list-style-type: none"> ○有害鳥獣対策について ○令和7年度の予算編成について
				2 鍵本 桂	<ul style="list-style-type: none"> ○ドローンの活用について ○地域おこし協力隊の活用について
				3 菅野 福雄	<ul style="list-style-type: none"> ○災害拠点等における上下水道施設の耐震化について ○ふるさと納税について ○第2次滝沢市総合計画における地域別計画の課題解決に向けて
				4 遠藤 秀鬼	<ul style="list-style-type: none"> ○防災対策について ○企業誘致について ○市内事業者の育成について
8	12月12日(木)	休 会	—		
9	12月13日(金)	本会議	10:00	<ul style="list-style-type: none"> ・議案 審議 ・選挙第1号・第2号 選挙 ・閉会 	
		議会運営委員会	本会議終了後	<ul style="list-style-type: none"> ・所掌事務調査等 	

令和6年滝沢市議会定例会12月会議議事日程（第1号）

令和6年12月5日（木）午前10時開議

諸般の報告

- (1) 現金出納検査結果報告書
- (2) 定期監査報告書
- (3) 財政援助団体等監査報告書
- (4) 請願文書表
- (5) 議会活動・議員派遣報告
- (6) 説明員の報告

行政報告

- | | | |
|-------|------------|--|
| 日程第1 | 会議録署名議員の指名 | |
| 日程第2 | 議案第1号 | 令和6年度滝沢市一般会計補正予算（第7号） |
| 日程第3 | 議案第2号 | 令和6年度滝沢市介護保険特別会計補正予算（第3号） |
| 日程第4 | 議案第3号 | 令和6年度滝沢市水道事業会計補正予算書（第1号） |
| 日程第5 | 議案第4号 | 督促手数料廃止に伴う関係条例の整備に関する条例を制定することについて |
| 日程第6 | 議案第5号 | 滝沢市地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要なものに関する基準を定める条例の一部を改正することについて |
| 日程第7 | 議案第6号 | 財産の取得に関し議決を求めることについて |
| 日程第8 | 同意第1号 | 滝沢市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第9 | 報告第1号 | 令和6年度滝沢市一般会計補正予算（第6号）の専決処分について |
| 日程第10 | 報告第2号 | 滝沢市子ども、妊産婦、重度心身障がい者及びひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正する条例の専決処分について |

- 日程第 1 1 報告第 3 号 滝沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分について
- 日程第 1 2 報告第 4 号 損害賠償請求案件の専決処分について

令和6年滝沢市議会定例会12月会議議事日程（第2号）

令和6年12月9日（月）午前10時開議

日程第1 一般質問（5名）

(1) 14番 山谷 仁 議員

(2) 1番 奥津 一俊 議員

(3) 9番 川口 清之 議員

(4) 5番 柳橋 好子 議員

(5) 3番 藤原 治 議員

令和6年滝沢市議会定例会12月会議議事日程（第3号）

令和6年12月10日（火）午前10時開議

日程第1 一般質問（5名）

(1) 13番 齋藤 明 議員

(2) 10番 仲田 孝行 議員

(3) 11番 小田島 清美 議員

(4) 8番 村木 香織 議員

(5) 7番 安部 理絵 議員

令和6年滝沢市議会定例会12月会議議事日程（第4号）

令和6年12月11日（水）午前10時開議

日程第1 一般質問（4名）

(1) 16番 井上 仁 議員

(2) 15番 鍵本 桂 議員

(3) 2番 菅野 福雄 議員

(4) 17番 遠藤 秀鬼 議員

令和6年滝沢市議会定例会12月会議一般質問項目

日程	順序	通告議員名	質 問 事 項
12 月 9 日 (月)	1	山 谷 仁	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食費無償化の実現について ○ふるさと納税に関する出品の募集方法について ○死亡届・手続きに関して ○巢子駅前交通広場自動車駐車場の利用について
	2	奥 津 一 俊	<ul style="list-style-type: none"> ○本市が目指すべき地域医療の方向性について ○災害に強いまちづくりの醸成について
	3	川 口 清 之	<ul style="list-style-type: none"> ○本市の農業振興の取り組みについて
	4	柳 橋 好 子	<ul style="list-style-type: none"> ○生活基盤道路の整備・維持について ○個性や多様性を尊重することについて
	5	藤 原 治	<ul style="list-style-type: none"> ○選挙における投票時間について ○中学校の部活動について ○喫煙所について ○ビッググループ滝沢の施設等について
12 月 10 日 (火)	1	齋 藤 明	<ul style="list-style-type: none"> ○市政について ○財政の基盤強化について ○職場環境の改善について ○農業振興について
	2	仲 田 孝 行	<ul style="list-style-type: none"> ○滝沢市行政基本条例について ○盛岡赤十字病院誘致の進捗状況について ○会計年度任用職員の採用について
	3	小田島 清 美	<ul style="list-style-type: none"> ○森林管理について ○防犯カメラの設置について ○防災について
	4	村 木 香 織	<ul style="list-style-type: none"> ○中心拠点商業地区開発について ○ビッググループ滝沢について ○エンディングノートについて
	5	安 部 理 絵	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援について

12 月 11 日 (水)	1	井 上 仁	○有害鳥獣対策について ○令和7年度の予算編成について
	2	鍵 本 桂	○ドローンの活用について ○地域おこし協力隊の活用について
	3	菅 野 福 雄	○災害拠点等における上下水道施設の耐震化について ○ふるさと納税について ○第2次滝沢市総合計画における地域別計画の課題解決に向けて
	4	遠 藤 秀 鬼	○防災対策について ○企業誘致について ○市内事業者の育成について

令和6年滝沢市議会定例会12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項	
12 月 9 日	1 山谷 仁 議員	
	○学校給食費無償化の実現について	
	<p>本市では、第2次滝沢市総合計画前期基本計画遂行のため、計画に基づいて、優しさを持った、この地に住んで良かったと思える町づくりにまい進しているものと思っています。市長就任より2年が過ぎた今、それぞれの政策に則った施策を展開する中、その中身の施策において、物足りないものやこうすればもっとよくなるといった事柄が多く見いだされたものと考えます。</p> <p>市長をはじめ、当局は日頃の業務に忙殺されている中ではありますが、これからの課題を見いだしながら、検討しなければならない事柄もあると考え、以下の点について伺います。</p>	
	(1)	学校給食費無償化の課題について、市民の要望に応えることが出来るか伺います。
	(2)	<p>文部科学省が先頃、全国の自治体における学校給食費無償化の状況を調べた結果を公表しました。公立小中学校の児童生徒全員の学校給食費を無償化している自治体が、2023年9月時点で、全国の3割にあたる547自治体あったことが、文部科学省の調査で分かっています。2017年度の同様の調査から6年で約7倍に増え、子育て支援の一環で無償化する動きが広がっている状況であり、政府は今後、全国で無償化できるか検討するとしています。岩手県内でも11市町村が無償化になり、17市町村が軽減策を講じています。</p> <p>学校給食法では、学校給食の実施に必要な施設、設備や運営に要する費用は、市町村などの義務教育諸学校設置者が負担すると規定しており、それ以外の食材材料費などの学校給食に必要な経費は、保護者の負担とされています。ただし、これは教育委員会などの判断で無償化することが可能であり、無償化の動きが全国的に広がっています。また、石破首相は先頃、来年度倍増計画を宣言した地方創生を巡っては、新しい地方経済・生活環境創生本部を設置し、全国各地の取り組みを支援する交付金を令和7年度当初予算ベースで倍増させ、今後10年間で集中的に取り組む基本構想の策定に向けた考え方を取りまとめる方針を明らかにしました。</p> <p>武田市長は、第2次滝沢市総合計画のキャッチフレーズに、こどもまんなかの市政運営、市民に優しい市政運営を掲げています。ぜひ、こどもに優しい施策の実現に向かって進めるべきと考えますが、見解を伺います。</p>
	○ふるさと納税に関する出品の募集方法について	
	<p>ふるさと納税に関わる担当課、市観光物産協会は、年々の申し込み増加の中、厳しい競争に挑戦をしていることと推察します。このふるさと納税について、以下の点を伺います。</p>	
	(1)	本年8月から9月にかけてのテレビ、新聞による報道に関しての当局の考え方と市長の対処の仕方についての真相を伺います。
	(2)	報道によりますと、市長の家で作った米がふるさと納税の返礼品の中で突出したものになっていることに関し、法律上は問題がないと判断されるという見解と、道義的に問題があるのではないかとの声があると報道されています。その点について、市民に対し市長の考えを表明することが肝要と思われませんが、見解を伺います。

令和6年滝沢市議会定例会12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項
12月9日	○死亡届・手続きに関して
	<p>市民がお亡くなりになった場合の手続きに関し、その手続きには相当の労力が必要とされ、困っている人が多いと全国的に報道されています。ある自治体では、住民に対する手続き軽減策として、1か所における相談、手続き及び書類作成が出来るなど整理した受付を行っている自治体が、多くなってきているようです。市民にとって、これほど市役所の力を必要とした事案は無いように思います。とりわけ、多くの費用がかかるわけでもなく、担当部署を整理することで大きな市民サービスになると思います。ぜひ、優しさを感じる町づくりを前に進めるため検討できないか、見解を伺います。</p>
	○菓子駅前交通広場自動車駐車場の利用について
	<p>(1) 令和元年にもこの問題を取り上げました。菓子駅は、無料駐車場として人気のある駐車場です。これまで多くの人利用し、今もほぼ満車の状況が続いています。当時の質問に対し、平成18年に菓子駅が開業してから13年が経ち、駐車場の諸設備の更新が課題となっていると前回の答弁がありました。2泊3日までは無料としている料金体系は利用者にとって、とりわけ市外の方にとってはうってつけの駐車場所になっています。その後にも検討結果について問うた機会には、IGR本体の設備、機構が変わるかもしれないということで、その後結論を出すとしていましたが、その後は何も変わっていないように感じます。その後の検討結果と、今後の対応について伺います。</p> <p>(2) 滝沢市民が使えないほどの混雑と、ほかの自治体の人達が日常的、永久に使用することの是非は重要な問題です。採算が取れないといった答弁もあったと記憶していますが、民間の経営を見ますと決してそのような赤字にはなっていないように思います。市有地の効果的・適切な活用方法を検討するべきと考えますが、見解を伺います。</p>
2	<p>奥津 一俊 議員</p> <p>○本市が目指すべき地域医療の方向性について</p> <p>本市は、今後の地域医療の在り方に関する取組の参考とするため、市民アンケート調査、市内医療機関等との意見交換を行っており、その内容を取りまとめ、令和7年3月を目途に公表予定です。その調査結果について、効果的に取りまとめ、今後の地域医療の在り方に関する市の取組を的確に構築するためには、適正な分析・評価が重要と考え、次の2点について伺います。</p> <p>(1) 調査等により把握した自由記述について、収集できる情報が多いこと、結論だけでなく根拠まで把握できることなどのメリットがある反面、記述された意見等の要点、意味合い及び意図などを適切に理解する高いスキルが重要と考えますが、テキスト解析ツールやAIを用いた分析も含め、自由記述に対する具体的な対応方法を提示願います。</p> <p>(2) 調査結果から、本市が目指すべき地域医療の方向性を明確化させるため、令和7年度に予定する報告書策定について、策定条件を網羅した政治的要因、初期投資や持続性を担保した経済的要因、本市の地域医療情勢に沿った社会的要因及び二次保健医療圏の医療資源を示す技術的要因等を網羅した、誰でも理解しやすいフレームワークを構築することが重要と考えますが、報告書策定に対して特に留意する因子について提示願います。</p>

令和6年滝沢市議会定例会12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項			
	<p>○災害に強いまちづくりの醸成について</p>			
	<p>日本は、東日本大震災等の地震災害、台風に伴う洪水・土砂災害など、毎年、多くの自然災害が発生しており、これらの災害に伴い多くの人的被害も確認されています。この現状に対し、地域の防災対策を充実させ、誰もが快適な生活を実感し、安全・安心に暮らせる地域づくりが求められていると考えますが、具現化させるための重要因子と想定する次の2点について伺います。</p>			
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="215 504 375 649">(1)</td> <td data-bbox="375 504 1444 649">食料・生活必需品等を指定避難所等に分散・配置し、避難者が使用できるようにすると記載されている本市の地域防災計画を具現化させるため、各自治会や事業所等との連携が重要であると考えますが、具体的な対応について提示願います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="215 649 375 828">(2)</td> <td data-bbox="375 649 1444 828">発災直後、食料・物資の提供を受けるため、避難者数を把握した上で、必要な食料・物資の項目や数量を速やかに市災害対策本部に食料要請リスト、物資要請リストを使用し、報告することが本市の避難所運営マニュアルで示されていますが、連絡手段確保が困難な状況下での具体的な対応方法、さらには効率よく避難所内に物資等を搬入する方法も併せて提示願います。</td> </tr> </table>	(1)	食料・生活必需品等を指定避難所等に分散・配置し、避難者が使用できるようにすると記載されている本市の地域防災計画を具現化させるため、各自治会や事業所等との連携が重要であると考えますが、具体的な対応について提示願います。	(2)
(1)	食料・生活必需品等を指定避難所等に分散・配置し、避難者が使用できるようにすると記載されている本市の地域防災計画を具現化させるため、各自治会や事業所等との連携が重要であると考えますが、具体的な対応について提示願います。			
(2)	発災直後、食料・物資の提供を受けるため、避難者数を把握した上で、必要な食料・物資の項目や数量を速やかに市災害対策本部に食料要請リスト、物資要請リストを使用し、報告することが本市の避難所運営マニュアルで示されていますが、連絡手段確保が困難な状況下での具体的な対応方法、さらには効率よく避難所内に物資等を搬入する方法も併せて提示願います。			
12月9日	<p>3 川口 清之 議員</p>			
	<p>○本市の農業振興の取り組みについて</p>			
	<p>現在、本市の畜産の現場は、ロシアのウクライナ侵略や円安等を原因とする飼料・生産資材の異常な高騰により、存亡の危機に直面しています。 最も厳しい状況に置かれている酪農をはじめ、肉牛繁殖・肥育ともに離農や倒産が相次ぎ、現状の生産量の確保すら危ぶまれています。この状況を踏まえ、次の5点を伺います。</p>			
	1	本市での畜産クラスター事業を利用している酪農家は、5戸と聞いています。一昨年来、飼料価格が急騰する一方、生乳価格が低迷し、酪農経営は未曾有の危機に陥りました。2022年は、酪農家一戸平均で約50万円の赤字、大規模経営を含めて倒産・廃業が相次ぎました。とりわけ畜産クラスター事業で規模を拡大した酪農家が、コロナ禍での需要の落ち込み、生産制限や仔牛価格の暴落による赤字に直面しました。また、在庫処理の負担を強いられて深刻な苦境に追い込まれました。酪農家を支援するための本市の取り組みについて伺います。		
	2	乳製品の過剰在庫により、生乳廃棄の懸念が高まっています。生産者は、国や県、自治体の施策に従って規模拡大・増頭増産を進めてきたにも関わらず、廃用などの生産抑制を迫られています。市は市民に対して、酪農・畜産の窮状を広く伝え、牛乳、乳製品の消費拡大への協力を訴えるべきと考えますが、本市の取り組みを伺います。		
	3	国産の飼料・生産資材の増産と持続的な確保が図られるよう、また、輸入飼料に依存しない自給飼料型の酪農経営を支援するため、水田、畑、採草地への直接支払交付金を維持、拡充すべきと考えますが、本市の取り組みを伺います。		
	4	各種支援措置は、小規模・家族経営を含めた多様な担い手が意欲と希望をもって生産に取り組めるよう、規模拡大要件を撤廃するなど実情を踏まえた改善を図るべきと考えますが、本市の取り組みを伺います。		
5	牛マルキン制度は、一部を生産者が負担する上に、基準となる経費が過去数年間の平均を取るため、コスト増が継続する場合には配合飼料価格安定制度と同様の問題が生じます。実質的な生産費の不足分の1/10を支援できるように改善すべきと考えますが、本市の取り組みを伺います。			

令和6年滝沢市議会定例会12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項
12月9日	4 柳橋 好子 議員
	○生活基盤道路の整備・維持について
	<p>第2次滝沢市総合計画前期基本計画の都市基盤部門において「人にやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち」「市民の暮らしを支える生活基盤の整備・維持の推進」とあります。</p>
	<p>令和4年2月会議で一般質問したのですが、住民の安全のために市道高森線と中道堰合線交差点の安全と改善について再度取り上げます。</p>
	<p>国道46号から入って元岩手看護短期大学を通り篠木小学校に向かう道路が中道堰合線です。国道46号から入ってすぐに左折し、小岩井駅・雫石方面へ向かう道路が高森線です。普段うわ通りと呼んでいる中道堰合線が整備されてから、高森線と中道堰合線は、盛岡・滝沢・雫石間の通勤路として年々交通量が多くなっています。また、盛岡西リサーチパークは、研究開発企業よりも今や物流関係企業が多くを占めるようになり、それに伴い大型車が国道46号から狭い高森線を通り出入りしています。国道46号から高森線に入るとき、篠木小学校方面からの中道堰合線と交差しますが、その交差点が狭く、大型車が左折する際、大回りしなくてはならず非常に危険です。</p>
	<p>特に、前回質問した後に、盛岡西リサーチパーク入口付近に大きな物流倉庫が建設され、現在もそれ以上の大きさの物流倉庫が建設中です。</p>
	<p>高森線はますます大型車の通行が増え、その物流倉庫に向かう交通量も大幅に増えると考えられます。この交差点の危険性を鑑み、住民の安全のために次の2点を伺います。</p>
	<p>(1) 以前の質問に対しては「曲線部分は標準的な設計」との答弁でしたが、より交通量が増し、大型トラックでさえ大回りが必要であり、トレーラーの左折はより危険を感じます。道路を造った時点と道路構造令が変わり、曲線部分の拡幅が必要と考えますが、見解を伺います。</p>
	<p>(2) この交差点は、雫石から盛岡方面への通勤路となっており、朝夕は非常に渋滞します。特に朝の小岩井駅方面から渋滞しますが、右折車が多く、左折する車はより待たせられます。左折専用レーンを設置することにより、渋滞が少しでも緩和されると考えますが、見解を伺います。</p>
	○個性や多様性を尊重することについて
<p>同じく第2次滝沢市総合計画前期基本計画の市民環境部門において「やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち」とあり「お互いを思いやり個性や多様性を尊重し合うとともに、つながりによる絆を深めながらお互いを支え合い（以下略）」とあります。</p>	
<p>また、現在では、ダイバーシティ（多様性）、インクルージョン（包括・包含）が企業や大学、社会でも大きく取り上げられて、様々な方法で実施されていることを踏まえ、次の2点を伺います。</p>	
<p>(1) 滝沢市は市内でのダイバーシティとインクルージョンにどのように取り組んでいるか、また、市民にどのように周知し実施しているか伺います。</p>	
<p>(2) 教育現場において多様性を認め、お互いを尊重するために、どのような取り組みをしているか、また、その成果を伺います。</p>	

令和6年滝沢市議会定例会 12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項						
12月9日	5 藤原 治 議員						
	○選挙における投票時間について						
	<p>先の衆議院議員選挙での本市の投票時間の終了は、投票日当日、午後8時までであり、その結果、開票事務は深夜を過ぎ、翌日夜中の2時過ぎまで従事したと聞いています。</p> <p>公職選挙法では、投票所を開く時間を2時間以内の範囲で繰り上げ・繰り下げができ、閉じる時間を4時間以内の範囲で繰り上げることができると規定しています。各市町村の選挙管理委員会はそれぞれの実情に合わせて、投票所を開けている時間を調整することも可能とされている中で、投票率向上の課題もありますが、どれほど時間が投票率に影響するか疑問です。期日前投票の期間も11日間設けられているため、私は影響がないと考えます。</p> <p>投票立会人も含めた選挙従事者の働き方改革、予算の軽減等の費用対効果を考慮し、周辺市町との協調も必要ですが、独自に終了時間を早めることを検討すべきと考えます。今後の国政選挙、市長選挙や市議会議員選挙等での終了時間短縮への見解を伺います。</p>						
	○中学校の部活動について						
	<p>この件に関し、今年の6月会議で質問したところ、今後の方針は「関係者や有識者等を組織した関係者会議を開催することで調整しており、諸課題について協議し、今後の部活動の在り方について各校に示していく考え」との答弁がありました。</p> <p>新年度に向け、どのような関係者会議が行われ、議論されたのか、また、新年度に向け各校にどのような方針を示していくのか伺います。</p>						
	○喫煙所について						
	<p>数か月前の地元新聞に、岩手県庁周辺の野外での路上喫煙にかかる可否等の記事が掲載されたと記憶しています。</p> <p>現在、市役所周辺には、ビッグルーフ滝沢の敷地内の一角に、いまだ囲いも屋根も無い喫煙所があるのみです。</p> <p>たばこ税として3億円ほどの歳入があるため、その一部を支出し、愛煙家のためにビッグルーフ滝沢の喫煙所を改修・改善すること、さらに市役所庁舎内への喫煙所設置の検討、もしそれが不可能なら、旧公民館周辺等へ新たな喫煙所設置の検討が必要と考えますが、その見解を伺います。</p>						
	○ビッグルーフ滝沢の施設等について						
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="274 1464 375 1608">(1)</td> <td data-bbox="375 1464 1445 1608">子供にとっても人気があり、多く利用されているチャグチャグ馬コをデザインした屋外遊具の所有権に関し、今後に禍根を残さないようにと今年の2月会議で一般質問がありましたが、それに対し「指定管理者と協議していく」との答弁がありました。その後、協議が進展しているか伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="274 1608 375 1697">(2)</td> <td data-bbox="375 1608 1445 1697">降雨時の南側出入口付近の屋根からの雨水が、歩行者の支障となるほど集中的に流れ落ちる状況を改善できないか伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="274 1697 375 1783">(3)</td> <td data-bbox="375 1697 1445 1783">特にも防災広場方面の壁面などに時計があった方が良いとの意見を何度も聞いていますが、設置はできないか伺います。</td> </tr> </table>	(1)	子供にとっても人気があり、多く利用されているチャグチャグ馬コをデザインした屋外遊具の所有権に関し、今後に禍根を残さないようにと今年の2月会議で一般質問がありましたが、それに対し「指定管理者と協議していく」との答弁がありました。その後、協議が進展しているか伺います。	(2)	降雨時の南側出入口付近の屋根からの雨水が、歩行者の支障となるほど集中的に流れ落ちる状況を改善できないか伺います。	(3)	特にも防災広場方面の壁面などに時計があった方が良いとの意見を何度も聞いていますが、設置はできないか伺います。
	(1)	子供にとっても人気があり、多く利用されているチャグチャグ馬コをデザインした屋外遊具の所有権に関し、今後に禍根を残さないようにと今年の2月会議で一般質問がありましたが、それに対し「指定管理者と協議していく」との答弁がありました。その後、協議が進展しているか伺います。					
(2)	降雨時の南側出入口付近の屋根からの雨水が、歩行者の支障となるほど集中的に流れ落ちる状況を改善できないか伺います。						
(3)	特にも防災広場方面の壁面などに時計があった方が良いとの意見を何度も聞いていますが、設置はできないか伺います。						

令和6年滝沢市議会定例会 12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項	
12月10日	<p>6 齋藤 明 議員</p>	
	<p>○市政について</p>	
	<p>令和6年度から第2次滝沢市総合計画前期基本計画を提示し、市政運営の展開を図っています。市長は、公約として、新しい住民協働の町をつくる、県立大学や盛岡大学との連携強化、中小企業の振興、赤十字病院の誘致、子育て支援の充実などを掲げています。</p> <p>このことから、以下の3点について伺います。</p>	
	(1)	<p>市長就任後2年間の総括について伺います。</p>
	(2)	<p>公約の反映度と市政運営の自己評価について伺います。</p>
	(3)	<p>今後の事業展開の主幹である「やさしさに包まれた滝沢」の方向性と、事業運営にあたり、特に「地域・人」への発信に力を入れるべきと考えますが、展開について伺います。</p>
	<p>○財政の基盤強化について</p>	
	(1)	<p>財源の確保（一般財源・特定財源）強化策について伺います。</p>
	(2)	<p>市監査委員から提出された令和5年度の決算審査意見書において「3年連続して人口が減少するなど、中長期的に市税等歳入面の見通しも不透明な状況となりつつある」との意見があるとおおり、この課題は避けられないものと考えますが、このような状況も踏まえ、今後の人口減少対策の展開について伺います。</p>
	(3)	<p>製造業の企業誘致を図ることで、若者定住に向けた就業先の確保に結びつき、ひいては法人税等の財源の確保対策にもつながると考えますが、見解を伺います。</p>
	<p>○職場環境の改善について</p>	
	<p>近年、カスタマーハラスメントは、社会問題化を呈しています。民間の企業においては、営業に支障をきたし、公共団体・事業体では、市民サービスの低下を招くなど、社会的影響が生じ看過できない状態であると捉えています。この状況は、官民どちらにおいても働く人たちの意欲を大きく減退させ、健康にも悪影響をきたし、最悪の場合は退職の決め手にもなっている可能性があるかと認識しています。これでは、安全で安心な職場環境とは言えません。</p> <p>このような状況から、以下の点について伺います。</p>	
	(1)	<p>カスタマーハラスメントの防止に対応したマニュアルや指針に基づいた職員研修などを行い、安全安心に向けた職場内の健康管理をされているのか伺います。</p>
	<p>○農業振興について</p>	
	<p>農業を取り巻く環境は、食料・農業・農村基本計画に基づき、生産拡大と合わせて、特に流通米の生産性の向上から、コストの削減、担い手への農地集積・集約化等を図ることが重要とされています。この状況の中にあって、地域農業は、生産者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等から、農地中間管理事業が展開され、農家生産の基盤は大きく変化しています。また、農業所得の状況は、米の販売額と粗収益の総額から生産費総額と家族労働費を控除した額を差し引いて算出され計上しています。しかしながら、販売価格の低迷などにより収益性は厳しい状況にあります。</p> <p>このような状況から、以下の3点について伺います。</p>	

令和6年滝沢市議会定例会12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項	
	(1)	農地中間管理事業の進捗と今後の方向性について伺います。
	(2)	農地集積・集約化に向けた圃場の拡大や整備の実施について伺います。
	(3)	農地集約の経営戦略と後継者の担い手の確保、技術や育成について伺います。
12月10日	7 仲田 孝行 議員	
	○滝沢市行政基本条例について	
	2015年4月に施行された滝沢市行政基本条例第17条では、職員の倫理原則を定め「職員は、市民主体による地域づくりを推進するため、全体の奉仕者であることを自覚し、常に公平かつ公正に職務を執行しなければならない。」と規定し、また「その職務及び地位を私的な利益のために用いてはならず、市民の疑惑及び不信を招くような行為をしてはならない。」と規定しています。そこで、以下の2点を伺います。	
	(1)	昨今の武田市長のふるさと納税返礼品をめぐる報道では、少なくない市民が市長の行為に疑惑の目を向けていることが明らかになっています。市長の行為が同条例の規定に違反していると考えますが、市長の見解を伺います。また、「武田家のお米」はふるさと納税返礼品市場から撤退すべきと考えますが、見解を伺います。
	(2)	同条例第20条では、管理監督者の責務を規定し、管理監督者は「第17条各項に規定する職員の倫理原則を自ら率先して遵守しなければならない。」と規定していますが、違反した場合については想定されていません。以上を踏まえ、市長の見解と条例改正の考えはあるのか伺います。
	○盛岡赤十字病院誘致の進捗状況について	
	(1)	武田市長は2年前の市長選挙で、盛岡赤十字病院の本市への誘致を公約の第一に掲げました。市長就任後、この公約実現のために行った具体的な活動内容を伺います。
	(2)	市長は昨年、病院誘致は10年から15年のスパンで考えると述べましたが、本年度取り組まれた市民アンケートの結果も踏まえ、誘致に向けたロードマップを早急にまとめるべきと考えますが、市長の考えを伺います。
	○会計年度任用職員の採用について	
	(1)	今年の6月に総務省は「会計年度任用職員制度の導入等に向けた事務処理マニュアル（第2版）」を改正したことを各都道府県総務部長、各政令指定都市総務局長などに通知しました。対象者への「3年の壁」を撤廃し、公募によらない継続雇用を認める内容に変更するとのことですが、今後の本市の対応を伺います。
	(2)	令和6年度一般会計当初予算において、会計年度任用職員が令和5年度311人、令和6年度176人と、135人も減っていますが、その理由と、今年度の会計年度任用職員の実人数を伺います。
	(3)	昨今の社会情勢の変化に対応するためにも、本市の会計年度任用職員の処遇改善が必要です。最低でも1,500円以上の時給を目指すとともに、性別による賃金の差の縮小を図る必要があると考えますが、今後の本市の取り組みの方針を伺います。

令和6年滝沢市議会定例会 12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項	
12月10日	8 小田島 清美 議員	
	○森林管理について	
	<p>森林は、木材を生産するとともに脱炭素や生物多様性の保全、治山や水源涵養といった様々な公益的機能を有しています。しかし、私有林については、戦後植林された樹木が伐採時期となっているにも関わらず、コストの関係から伐採できずにそのままとなっている樹木があります。森林管理を進めるために森林環境譲与税に続き、今年の6月からは森林環境税も導入されました。本市の森林管理について、以下の点を中心に伺います。</p>	
	(1)	<p>戦後植林された樹木が伐採時期を迎えています。伐採時期を迎えていることを知らなかったり、収益が見込めないため伐採しない等、今後も再造林しないままとなっている森林があります。森林保護の観点からも、私有林の樹木の伐採について支援が必要と考えますが、見解を伺います。</p>
	(2)	<p>持続可能な林業と、防災・減災や人里と動物のすみ分けのためにも、経済林と非経済林を適切に分ける森林ゾーニングが必要と考えますが、見解を伺います。</p>
	(3)	<p>森林所有者や境界が不明になって放置される森林があります。森林保護の観点からも対策が必要と考えますが、見解を伺います。</p>
	(4)	<p>美しい日本の森林を守り育てていくために、植林等の体験を通じた教育が必要と考えますが、見解を伺います。</p>
	○防犯カメラの設置について	
	<p>防犯カメラは、犯罪や不正行為を未然に防止・抑止することを目的として設置されています。昨今、深夜にハンマー等で窓ガラスを割り、住宅に押し入り現金等を奪うという事件が相次いでおり、多くの人々が利用する公共施設には、安全対策として、防犯カメラを設置すべきと考えますが、見解を伺います。</p>	
	○防災について	
	<p>静岡県菊川市と藤枝市の地域住民と自治体による防災・減災に係る連携の事例を学ぶことを目的として視察してきました。この地域では近い将来、南海トラフ地震や富士山の噴火が想定されていることから、自主防災組織の在り方や防災対策について学ぶことが多くありましたので、以下の点を中心に本市の防災対策について伺います。</p>	
	(1)	<p>自主防災組織が十分に機能できるように、自主防災組織による要支援者の避難訓練、安否確認、避難所開設訓練等の推進が必要と考えますが、市の見解を伺います。</p>
	(2)	<p>いざというときに、自主防災組織や各家庭及び個人がどのように行動するのか、日頃からしっかり考えておく必要があります。自主防災組織のタイムライン及び各家庭におけるマイタイムラインの推進を図るべきと考えますが、見解を伺います。</p>
	(3)	<p>避難所が開設された場合の切実な問題として、トイレや風呂の問題が挙げられています。災害発生時に直ちに移動でき心地よく使用できる、トイレやシャワー等多目的支援車の導入を検討するべきと考えますが、見解を伺います。</p>

令和6年滝沢市議会定例会 12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項
12月10日	9 村木 香織 議員
	○中心拠点商業地区開発について
	<p>本市の中心拠点商業地区「（仮称）結まち滝沢クロス」の開発においては、造成工事も順調に進み、キーテナントの調整も順調にすすんでいると関係各所で伺っています。これまで懸念していましたオープンへのこぎつけも目途が立っているようで安心しており、いよいよ中心拠点としての形が想像できる入口まで辿り着いた感があります。この機会を捉え、地元商業者等店舗棟のゾーンを具現化し、より良い魅力を醸成していくために、以下の点について伺います。</p>
	(1) <p>地元商業者等店舗棟における公共スペースの整備の検討について伺います。具体的に、子どものためのスペースは、主に本市内公園やビッグルーフ滝沢にも屋内施設や屋外遊具等が設置されていますが、本市が掲げる第2次滝沢市総合計画で目指す「こどもまんなか滝沢」「つながる滝沢」の観点から、子どもがのびのびと遊べる場、保護者同士の情報交換の場、世代を超えた交流の場、地域外の方との情報交流の場等、憩いとなる公共スペースの創出は必要であり、それが地域内外からの集客にもつながるのではないかと考えますが、考えをお示してください。</p>
	(2) <p>キーテナントの調整が順調に進んでいる現状や物価高騰などの経済情勢を踏まえ、出店するテナント等事業者に対する各種助成金・金融支援策が必要と考えますが、現在の考えをお示してください。</p>
	○ビッグルーフ滝沢について
	<p>滝沢市の交流拠点複合施設として、平成29年にグランドオープンしたビッグルーフ滝沢は、今や各種イベントや祭りの会場として、また、本市の住民にとって重要なコミュニティの拠点となっているほか、災害時の避難所にもなっており、日々多くの方に利用されていることは認識しています。利用状況に関しても、コロナ禍に一時閉館があり、来館者数や稼働率が下がった時期もありましたが、現在では回復しており、収支状況においても、令和5年度は燃料・物価高騰の中にも関わらず、過去最高の収支額約1千335万円の決算となっています。その点から、指定管理者制度により、本市が管理しているビッグルーフ滝沢は、市民に安定的に定着しつつあり、今後もより一層住民サービスの向上が図られていくべきと捉えます。そこで、以下の点について伺います。</p>
	(1) <p>施設の各料金について、市民や市内各団体、本市と市商工会の合同による発展的イベントである滝祭の運営を対象とした料金に対し、今後、滝沢市交流拠点複合施設設置条例第10条に基づいた減免措置を行う考えがないか伺います。</p>
	(2) <p>今後より一層の住民サービス向上を目的として、料金の見直しを進める考えはないのか、考えをお示してください。</p>
	○エンディングノートについて
<p>本市への聞き取りによると、来年度を目途にエンディングノートを作成し、配布に向けて、現在準備が進められていると伺いました。エンディングノートは、人生の最期や緊急時に備えて、自分の意思や情報を記録するもので、家族にとっても多くの必要性や利点があり、近年では県内外の自治体で既に導入されています。県内においても、奥州市、宮古市や久慈市といった自治体でオリジナリティのあるエンディングノートを配布しています。本市においても高齢化は避けられない中、自身のみならず家族にとってもエンディングノートは、将来に備えて非常に大きな役割を担うのではないかと捉えており、また、本市がその導入を決断されたことは、大変に意義のあることとも捉えています。そこで、以下の点について伺います。</p>	

令和6年滝沢市議会定例会 12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項
	(1) 来年度の導入に向けて、現在エンディングノート作成がどのように行われているのか伺います。
	(2) 配布方法や配布場所はどのような場所を想定しているのか伺います。
	(3) 本市として、今後の具体的な活用方法を伺います。
12 月 10 日	10 安部 理絵 議員
	○子育て支援について
	<p>子育て支援や少子化対策の一環として、全国的に学校給食費無償化と子どもの医療費無償化が進んでいます。隣の青森県では、今年10月から全小中学校の学校給食費の無償化がスタートしています。岩手県では約1/3の自治体が、すでに独自の学校給食費無償化に取り組んでいます。また、子どもの医療費無償化でも、小学生以上の医療費を単独助成していないのは、本市とほか1自治体のみであり、自治体ごとの背景があるとはいえ差が出ています。先進的に給食費や医療費の無償化を進めている自治体は、新たな子育て支援として、小中学校や高校への入学準備のための支援金給付や修学旅行費の補助をするなど、どんどん先に進んでいます。本市は「こどもまんなか滝沢」を掲げていますが、学校給食費も子どもの医療費も無償化には消極的であると捉えています。子育て支援は早急に取り組むべき課題と捉え、以下の点について伺います。</p>
	<p>1 学校給食費無償化のメリットとして、市学校給食センター職員による督促の面談業務や集金業務の軽減があります。毎月の口座引き落とし業務と入金確認、口座引き落としできなかった家庭への手続き等や滞納に対する督促事務の軽減が図れると考えますが、見解を伺います。</p>
	<p>2 子どもの医療費無償化について、現在の検討状況を伺います。</p>
	<p>3 県内のほとんどの自治体が高校生等までの子どもの医療費無償化に取り組んでいます。これまでの一般質問でも財源について「国や県に要望していく」との答弁でしたが、県内のほとんどの自治体が、独自に無償化や単独助成に取り組んでいる現状で、果たして国や県からの補助が見込めるのか疑問です。本市の見解を伺います。</p>
	<p>4 新たな子育て支援策として、修学旅行費の補助や入学・進学に向けた準備費用の補助を検討すべきと考えますが、見解を伺います。</p>
<p>5 無償化や新たな子育て支援策には財源の確保が必要ですが、安定的に財源を確保するために、全事業の内容や予算を見直し、事業予算の1～2%を無償化等の財源に充てるのが適当と考えますが、市の見解を伺います。</p>	

令和6年滝沢市議会定例会 12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項	
12月11日	11 井上 仁 議員	
	○有害鳥獣対策について	
	<p>市内の鳥獣による農作物被害は、クマ・イノシシが中心となりますが、シカや小動物などの被害も散見されています。対策として、滝沢猟友会への出動依頼という形となりますが、滝沢猟友会でも多くの課題を抱えている現状です。</p> <p>出没や被害が多く続いている現状を踏まえ、今後の対策について、以下の点を伺います。</p>	
	(1)	滝沢猟友会の会員の高齢化及び人員不足による駆除体制の構築について
	ア	猟友会の出動回数を減らすため、農家の自衛策の強化について伺います。
	イ	ICT機器活用の拡大の考えについて伺います。
	ウ	新規委嘱となる地域おこし協力隊の活用について伺います。
	(2)	滝沢猟友会の施設確保に関して
	ア	解体場所の確保について伺います。
	イ	供養塔の建立場所について伺います。
	(3)	市街地や学校周辺への出没対策について伺います。
	(4)	鳥獣被害対策実施隊の設置の検討について伺います。
	(5)	ジビエ活用のハードルについて伺います。
	○令和7年度の予算編成について	
	<p>令和7年度は、第2次滝沢市総合計画の2年目になりますが、令和6年度の成果と課題を基に、令和7年度予算編成の方針について、以下の点を伺います。</p>	
	(1)	5つの視点「つながる滝沢」「こどもまんなか滝沢」「いきいき滝沢」「まなぶ滝沢」「はたらく滝沢」それぞれの評価と課題、今後の方針を伺います。
	(2)	市議会からの提言である若者定住の考えについて、令和7年度に新たに進めるものがあるか伺います。
	(3)	第2次滝沢市総合計画を更に進めるために「たきざわ魅力発信室」「若者活躍推進室」の今後の方針を伺います。
	(4)	国の財政運営の動向が変わる見込みの中で、市の自主財源確保のための方策を伺います。
	12月11日	12 鍵本 桂 議員
○ドローンの活用について		
<p>今般の豪雨災害や岩手山の火山活動が活発化している状況への対応や、職員の安全確保の観点からも、ドローンの保有と運用を早急に進める必要があると考えます。運用は、職員が操作資格免許を取得し、業務等で空撮が必要な場合は担当課を超えた連携を図る「新たな価値を創造できる職員の育成と行政体制の構築」の実施を踏まえて、以下を中心に当局の見解を伺います。</p>		

令和6年滝沢市議会定例会12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項	
12月11日	(1) 災害箇所を職員が現地で目視・撮影する方法では被害状況の把握に時間がかかります。また、職員の安全確保と働き方改革の観点からも、早急にドローンを使用した災害状況確認の仕組みを取り入れるべきと考えますが、当局の見解をお示しください。	
	(2) ドローンを使用することで業務の効率化を図ることができ、市職員の業務負担を軽減できると考えますが、当局の見解をお示しください。	
	(3) ドローンの運用を民間委託ではなく市で運用し、市職員が操縦することで迅速な初動対応が可能となり、最低限の事業費で運用ができます。また、火災時の現地確認、橋や建物の老朽化の確認、イベント、式典等の放映動画にも利用できると考えますが、当局の見解をお示しください。	
	○地域おこし協力隊の活用について	
	地域おこし協力隊は、都市住民を地方自治体が何人でも受け入れることができ、生活の拠点を移し、地域ブランドや地場製品の開発、販売やPRを行いながら定住、定着を図る自治体の自主的・主体的な取り組みであり、活動経費は国が負担することから積極的な活用が必要です。「はたらく滝沢」と若者定住の観点から、以下を中心に当局の見解を伺います。	
	(1) 市所有の遊休資産や閉園した保育園などを利活用し、ワイン製造、スイカやサツマイモの加工などを地域おこし協力隊と市内業者で取り組める体制作りを市が整える必要があると考えますが、当局の見解をお示しください。	
(2) 地域おこし協力隊任期満了後も、起業した会社へ新たな地域おこし協力隊を送り込むなどの支援や提案も必要と考えますが、当局の見解をお示しください。		
(3) 滝沢市の農産物は充実している一方で、市内で生産から加工までを行える市内事業者が少ない現状です。このような現状を改善するため、地域おこし協力隊を活用し、市内での事業展開の仕組みづくりを行うことも可能と考えます。「はたらく滝沢」を掲げ「連携による観光産業の創出及び競争力のある物産振興と安心して働く環境の整備」を本市が実行するにあたり、市長の見解をお示しください。		
13 菅野 福雄 議員	○災害拠点等における上下水道施設の耐震化について	
国土交通省は1月の能登半島地震を受け、全国にある上下水道の緊急点検結果を公表しました。本県は、避難所や災害拠点病院など重要建物のうち、接続する水道管路と下水道管路、ポンプ場がすべて耐震化されているのは8%で、全国平均の15%を下回りました。本県では、重要建物に接続する水道管路などの耐震化率100%は遠野市など5市町村、宮古市など6市町は耐震化率3～89%、19市町村は0%でした（普代村ほか2町は除く）。この緊急点検結果を踏まえ、各市町村は国から上下水道耐震化計画を来年1月末までに策定するよう求められています。このことについて、次の3点を伺います。		
(1) 本市は19市町村の耐震化率0%に該当していますが、これまでの経過と令和6年度滝沢市水道施設更新計画策定業務の関連性を伺います。		
(2) 能登半島地震では、上下水道施設が損壊して約14万戸が断水し、一部地域は復旧に5か月かかりましたが、耐震化した浄水施設や下水道処理場などには被害はありませんでした。本市の耐震化計画について見解を伺います。		

令和6年滝沢市議会定例会12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項
12月11日	<p>(3) 上下水道の管路などの施設は老朽化が進んでいる上に耐震性が不足しており、どう対処するかが共通課題となっています。多くの自治体では料金収入が不足し、一般会計から財源を繰り出し補填していますが、本市の状況を伺います。</p>
	<p>○ふるさと納税について</p>
	<p>本市のふるさと納税額は、令和6年10月末現在累計で約3,300万円です。昨年同月は約4,900万円であり、達成率は約67%です。ふるさと納税を増収しなければ、住民税減税額がますます大きくなり、税収の規模が小さくなるため、新しい返礼品を作るなどして増収していくことが必要不可欠です。八幡平市は「岩手山、八幡平、安比高原の50kmトレイルを整備し、雄大な自然を快適に楽しんでもらいたい」と称して、自然環境に係る寄付に特化したクラウドファンディングふるさと納税プロジェクトを立ち上げ、目標の100万円を達成しています。本市も刀剣などの高額な返礼品候補がありますが、魅力ある返礼品開発が求められています。</p> <p>一方、武田市長関連のお米が本市の返礼品になっていますが、市民から問題視する声が上がっています。このことについて、次の4点を伺います。</p>
	<p>(1) ふるさと納税制度が厳格化され、自治体は返礼品や人件費の費用削減に追われています。しかし、増収策を継続しなければならないと思いますが、見解を伺います。</p>
	<p>(2) 北海道の日高川町では、ふるさと納税に特化した地域おこし協力隊を募集しています。本市も低迷しているため、この取組を参考にする必要があると思いますが、見解を伺います。</p>
	<p>(3) 雄大な自然を満喫できる岩手山麓サイクリングロードを整備する政策が必要です。このような政策のために、クラウドファンディングふるさと納税制度の活用を考えるべきですが、見解を伺います。</p>
	<p>(4) 本市のふるさと納税制度に参加している米農家は2事業者ですが、雫石町は約15事業者が参加しています。本市の農家に、市長に対する遠慮等があったため参加する農家が少なかったのではないかと考えますが、見解を伺います。</p>
	<p>○第2次滝沢市総合計画における地域別計画の課題解決に向けて</p>
	<p>本市は、第2次滝沢市総合計画を策定し、市の将来像や目指す状態、それらの実現に向けた取組方針など、まちづくりの方向性を示しました。また、第2次滝沢市総合計画のうち基本計画は、市民が主体的に活動を行う「地域別計画」と、市行政が市民主体の地域づくりを支援し、セーフティネットを堅持する取組をまとめた「市域全体計画」で構成されています。</p> <p>しかし、少子高齢化やコミュニティの希薄化が進む中、地域ごとに策定する地域の課題解決と幸せづくりを推進するためには、自治会運営に困難な事象が出ており、自治会が抱える課題解決に向けて対応策を検討していくことが望まれます。</p> <p>このことについて、次の3点について伺います。</p>
	<p>(1) 現在、自治会の集会施設は、災害時の避難所や介護予防のサロン活動の場、子ども会活動の集会の場等としての地域活動の拠点となっており、住民が集える場所の整備が必要です。各自治会は、集会施設整備事業やコミュニティ助成事業等を活用し、安全な施設整備や改善に努めているところですが、市内の集会施設の老朽化を調査し、活動を推進していくためにも、熱中症対策として全集会施設にエアコンの整備が必要と考えますが、見解を伺います。</p>
<p>(2) 自治会役員のなり手不足が課題となっています。自治会長や役員への依頼事項が多く、市から自治会に対し各種委員の推薦、選出依頼がありますが、担い手がなく1人の役員が何役も兼ねている現状です。担い手不足が深刻化する中で大きな負担となっており、新たな方法を取り入れる等、負担を軽減し、活動を活性化するための見直しが必要と考えますが、見解を伺います。</p>	

令和6年滝沢市議会定例会12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項		
12月11日	(3)	自治会が抱える課題及び対応策について「自治会課題対応プロジェクト会議」を設置し、ヒアリングやアンケートを行い、持続可能な地域コミュニティを形成していくための取組を進めている自治体がありますが、本市における見解を伺います。	
	14	遠藤 秀鬼 議員	
		○防災対策について	
		<p>気象庁によると、2024年は、過去5年間における1年の地震発生数が8月時点ですでに最も多くなり、また、7月25日には豪雨が東北地方を襲い、地滑りを引き起こす等甚大な被害をもたらしました。一方で、岩手山は8月、山体膨張を示す地殻変動が観測されました。齋藤岩手大学名誉教授は、万一の場合、適切な行動をとるためには「事態を正しく認識しておく必要がある」と呼びかけています。以降、8月21日には、岩手山火山噴火警戒レベルが「2」に引き上げられ、現在は入山規制中です。</p> <p>滝沢市地域防災計画に、防災関係機関の責務として「市は、基礎的な地方公共団体として、地域並びに地域住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、関係機関及びその他の地方公共団体の協力を得て、防災に関する計画を作成し、これを実施する。」としています。各種災害等から住民の生命・財産を守るため、避難計画を作成し、避難経路、避難場所等について、住民への周知徹底を図らなければならないと考え、以下、その計画の具体的な実施内容について伺います。</p>	
	(1)	防災知識の普及・高揚策について、以下の3点を伺います。	
	ア	市職員に対する防災知識の普及・高揚策について伺います。	
	イ	住民等に対する防災意識の普及・高揚策について伺います。	
	ウ	児童生徒に対する防災教育について伺います。	
	(2)	消防団の活性化及び活動支援について、以下の3点を伺います。	
	ア	消防団の施設・設備の充実強化について伺います。	
	イ	消防団員の報酬・出動手当等の処遇改善について伺います。	
	ウ	消防団員の加入促進策について伺います。	
	(3)	防災訓練の実施状況及び訓練実施成果の反映状況について伺います。	
	(4)	備蓄物資・備蓄飲料水について、以下の2点を伺います。	
	ア	本市の備蓄物資の確保・地域への配備状況について伺います。	
	イ	本市の飲料水の確保・地域への配備状況について伺います。	
	(5)	防火水槽及び消火栓の地域配備等について、以下の2点を伺います。	
	ア	地域への配備状況について伺います。	
	イ	使用後の補充等について伺います。	
		○企業誘致について	
	(1)	盛岡西リサーチパーク、I P Uイノベーションパークに次ぐ産業用地の準備状況について、以下の3点を伺います。	

令和6年滝沢市議会定例会12月会議一般質問項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項	
12 月 11 日	ア	用地開発の現状について伺います。
	イ	開発予定場所の確保とその造成等の現状について伺います。
	ウ	新規進出企業の引き合い状況について伺います。
	(2)	以前、当局からの答弁において、本市北部地域への企業誘致について、周辺環境の要因で企業から敬遠されているとの趣旨の発言がありました。時間の経過とともに、現在ではそのような状況はないと考えますが、市の見解と今後の取り組みについて伺います。
	○市内事業者の育成について	
	(1)	市内事業者の具体的育成支援策について、以下の2点を伺います。
	ア	製造業、土木建設業の具体的育成支援策について伺います。
	イ	農林・畜産業の具体的育成支援策について伺います。